

寒
綠
日
錄

寄贈 秋山文庫 (伊勢灣台風水入本) 昭36修理製本

桑名市立図書館

秋山文庫
2-361
1

無名氏

寒 錦 口

秋 月

初秋

いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

七日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

八日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

九日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

十日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

十一日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

十二日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

十三日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

十四日
いよいよ秋の気配が濃くなる。山は紅葉がはじまり、谷間は涼しい。静寂がもたらす秋の美しさを感じて、心も落ち着いてくる。

出づりては全く運道悪くありて
内事一々の方見たり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

同十八日
晴 涼冷多未大なる事
初春の事なり
中々の事なり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

同十九日
晴 涼冷多未大なる事
初春の事なり
中々の事なり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

同廿一日
晴 涼冷多未大なる事
初春の事なり
中々の事なり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

同廿二日
晴 涼冷多未大なる事
初春の事なり
中々の事なり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

同廿三日
晴 涼冷多未大なる事
初春の事なり
中々の事なり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

同廿四日
晴 涼冷多未大なる事
初春の事なり
中々の事なり
此れ中々の事なり
未だん 此れ北平

四月七日

昨日の夜、暑さで寝られず、汗をかく。今朝も暑く、汗をかく。午後、涼しくなると、汗が止まる。夕方、涼しくなると、汗が止まる。夜、涼しくなると、汗が止まる。

四月八日

昨日の夜、暑さで寝られず、汗をかく。今朝も暑く、汗をかく。午後、涼しくなると、汗が止まる。夕方、涼しくなると、汗が止まる。夜、涼しくなると、汗が止まる。

四月九日

昨日の夜、暑さで寝られず、汗をかく。今朝も暑く、汗をかく。午後、涼しくなると、汗が止まる。夕方、涼しくなると、汗が止まる。夜、涼しくなると、汗が止まる。

四月十日

昨日の夜、暑さで寝られず、汗をかく。今朝も暑く、汗をかく。午後、涼しくなると、汗が止まる。夕方、涼しくなると、汗が止まる。夜、涼しくなると、汗が止まる。

四月十一日

昨日の夜、暑さで寝られず、汗をかく。今朝も暑く、汗をかく。午後、涼しくなると、汗が止まる。夕方、涼しくなると、汗が止まる。夜、涼しくなると、汗が止まる。

七
虫

秋の初めに海の家を建てて居る所を此の海の家と云ふ
此の家を建てて居る所を此の家と云ふ

日二

言ふに秋の初めに海の家を建てて居る所を此の家と云ふ
此の家を建てて居る所を此の家と云ふ

日三

言ふに秋の初めに海の家を建てて居る所を此の家と云ふ
此の家を建てて居る所を此の家と云ふ

紅葉染

日四

言ふに秋の初めに海の家を建てて居る所を此の家と云ふ
此の家を建てて居る所を此の家と云ふ

日五

言ふに秋の初めに海の家を建てて居る所を此の家と云ふ
此の家を建てて居る所を此の家と云ふ

日六

言ふに秋の初めに海の家を建てて居る所を此の家と云ふ
此の家を建てて居る所を此の家と云ふ

秋の初めに

魏義林忠老着思一廿海刊戒黃押乾此
可性改重事之思法氣凜然新古情
認城效死

同十二日

陰年未二萬山好 年後桂文法不之流也
若不加及了竟有 幸九龍路定多入陸
也

同十三日

快晴多未難中 幸年多流統 既中
年後大重事 既年大 少收 由
名難有 以之 台 少 收 日 也 收 本

同十四日

快晴多未難中 幸年多流統 既中
年後大重事 既年大 少收 由
名難有 以之 台 少 收 日 也 收 本

同十五日

陰年未二萬山好 年後桂文法不之流也
若不加及了竟有 幸九龍路定多入陸
也

中秋一月風雨晴夜 連晴桂花清香 對人
秋夜云云 久通情相見 大月明生 料陰
西鏡銀閣 在月 蕭條聽雨 故入 宮殿
一年 幸在 秋中 畢竟 是 幸 也 然 在
采是 吉 東 治 天下 幸 也 烟 多 成 聖 明
夏 果

同十六日

風休雨降 以和 暖 幸 多 幸 也 然 在
秋 中 幸 也 然 在

秋夕

秋夕

何事 可 也 然 在 秋 中 幸 也 然 在

秋夕

同廿九日

小陰未陰終の如く入る下りしる年後中村
修中より以初より先文有之山土光九水花
以初より先文有之山土光九水花

同三十日

晴冷中道長年秋の如く先文有之山土光九水花
以初より先文有之山土光九水花

九月朔

晴冷中道長年秋の如く先文有之山土光九水花
以初より先文有之山土光九水花

題者若長睡家以類尤

此年官長致光編者抑地不知羞成金
何事一賦亦愧見物汗世秋

秋初記懐

西風初冷秋園草際於 地決晴却

後解の如く先文有之山土光九水花

年後中道長年秋の如く先文有之山土光九水花

以初より先文有之山土光九水花

以初より先文有之山土光九水花

以初より先文有之山土光九水花

以初より先文有之山土光九水花

以初より先文有之山土光九水花

同三十日

陰の如く先文有之山土光九水花
以初より先文有之山土光九水花

同四日

陰の如く先文有之山土光九水花
以初より先文有之山土光九水花

福持公之與潤也胡敢事為一也滋一
玉臨聖子行微知君臨君之休事
我教科玉之亮矣眼全愈誠分正
移身形法其其空寂羅之我之
如令汝以取汝來汝見於智述而思
人之親也君何日未可也誰人多
何日兒何是悲之運日吾無之誠
妍然其美子為我汝汝休也
年假新也

約程
右之此
皆
秋
理
黃

月十九日
陰

神菊

此年
先
秋
其
南
法
以
中

月十九日

快晴
志
月

日

性
出
皆
以

田舎のこゝろをいふは
世にまじりてはなれぬ

田舎のこゝろをいふは
世にまじりてはなれぬ

目次三。

秋晴に軒下を歩くと
夕暮の光を浴びて
山に
夕暮の光を浴びて
山に
夕暮の光を浴びて
山に

目次四。

晴日に山を歩くと
夕暮の光を浴びて
山に
夕暮の光を浴びて
山に

目次五。

晴日に山を歩くと
夕暮の光を浴びて
山に
夕暮の光を浴びて
山に

秋夕の夜の光をいふ

秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ

目次七。

秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ

秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ
秋夕の夜の光をいふ

此山... 卷之...

同六

此山... 卷之...

同九

此山... 卷之...

九月

此山... 卷之...

十月

此山... 卷之...

同三

此山... 卷之...

洞三

此山... 卷之...

四

此山... 卷之...

同四

此山... 卷之...

去冬七國名捕三志及... 漢軍...

四五

兩收... 後方... 孔...

四六

收... 行... 款...

四七

收... 宣... 多... 心... 三...

四八

四九

收... 亦... 又...

小...

裁... 病...

冬...

知... 是...

四一〇

收... 九...

四一一

收...

月代大乗寺住持又相方山記

月十日

陰曆三月廿五日丙午方山記
家及檢方山子方山記

月十三日

陰曆三月廿八日丙午方山記
家及檢方山子方山記

月十四日

陰曆三月廿九日丙午方山記
家及檢方山子方山記

月十五日

陰曆四月初一日丁未方山記

晴

十月廿四日

有御晴有候多也
根原之賊討討月
唯唯唯之還者
其有想其年秋

其有想其年秋

年没地集文集見相入

先白田家

三曲卷終方力相生
初出子區少内
改已尽新
其有想其年秋

月十六日

陰曆四月初二日丁未方山記

三夜中月夜と云ふ事多し
夜と云ふは概して年長月大根静味
ゆき事よふ事

同廿九日

晴空陰蔽多分法山山行午後山行
若谷より極上北山山行
十七日午山山行根静味ゆき事

同三十日

陰山山行午後山山行
山山行午後山山行

十一月朔日

晴風早ふ事多し
初分をわたり山山行
山山行午後山山行
山山行午後山山行

同二日

晴山山行午後山山行
山山行午後山山行
山山行午後山山行

同三日

晴山山行午後山山行
山山行午後山山行
山山行午後山山行

同四日

晴山山行午後山山行
山山行午後山山行
山山行午後山山行

同五日

晴山山行午後山山行
山山行午後山山行
山山行午後山山行

諸君多々新法給... 唐山... 杖静妹...

同十一日

唐北... 杖静妹...

同十二日

唐... 杖静妹...

同十三日

同十四日

唐... 杖静妹...

同十五日

唐... 杖静妹...

秋静妹时入院上五年

同本五

秋静妹时入院上五年
访到院出

同本六

秋静妹时入院上五年
访到院出

同本七

秋静妹时入院上五年
访到院出

同本八

秋静妹时入院上五年
访到院出

同本九

秋静妹时入院上五年
访到院出

同本十

秋静妹时入院上五年
访到院出

同四

收時前年五月中重雪多矣今年亦極雪
惟今年之五月中年及後復得雪也

冬日園中

山瘦風荒老石如碑
訪庭隙地多如呼吸
健步如飛新種松
竹石如畫
石如畫
石如畫

春寒尚早梅未開
冬雪未盡梅已落

如

或晴或陰
風聲未止
雨聲未止

雨

為

清

歲暮
秋意
秋意

日

雪後
雪後

桃

冬天
君子
此歲
足矣

水

冬
冬
冬

能活人地... 可救律令... 面為貪生

年方... 積...

積...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

五言古詩
同十五

白帝城中望
出處古今中
此曲盡
曲盡古今
德詩秋

冬初月

覽
月射
光然
深疑
白雪
天靜
所
成詩

社

社
社

同十六

晴
多
風
馬
松
在
山
上
以
課

詩
秋

方
知
如
日
來
漸
多
多
物
嘆
甚
也
与
松

社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

社
社

秋三首
其一
秋風吹去
其二
秋風吹去
其三
秋風吹去

秋三首

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋三首

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋風吹去

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋三首

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋三首

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

秋三首

秋風吹去
秋風吹去
秋風吹去

却以送客秋經水清共語都飲疎狂
小酌也了六文月日雖多共此一酌不
日十九日

惟能無事午食却覺法度出於
午後禮仍款以續

多相思友

群物何嘆知是月光的晚近境內
起相深望多生好也思伴子如
下替臨與後不短變而一才至誠

山嵐

多方的長長數年之久
上向一山去而不知之
以知多古物也 又上山
可之相之也

暮年

撼之風北去而地事
短紙又逢訪繼然
崔睜長通香既既晚晚月今

暮年

極思之風北去而地事
弟之好年

日一

有隆之風北去而地事
言多事之也
此山之也

其小亦也

枕巾田然三飲紅徑香龍破
持尔呼老欲数日一獨起升天

山家風

世間多排逐名山家風在書心

日廿二

瓦鼓日晴輕雪多家
春月已盡不課詩歌少讀

雪後觀梅

淡柳輕雪之暗律護相回
解古夜重思拜一坐松
風吹清香欲出月照
清如羊柳期去却足排
悶吟哦

吳詩

山家風

世間多排逐名山家風在書心
世間多排逐名山家風在書心
世間多排逐名山家風在書心

雪後觀梅

獨雪素意後秋前意
潭有光柳橫古室
詩身排火銀香排
悶在茶梳中書
兩地海綿及香
柳取暖吟

山家風

世間多排逐名山家風在書心
世間多排逐名山家風在書心
世間多排逐名山家風在書心

日廿四

世間多排逐名山家風在書心
世間多排逐名山家風在書心
世間多排逐名山家風在書心

新

知... 年... 以... 道... 唐... 也... 日... 月... 形... 萬... 年... 同... 少... 華... 未... 托... 日... 日... 大... 日... 日...

月... 形... 萬... 年... 同... 少... 華... 未... 托... 日... 日... 大... 日... 日...

月... 形... 萬... 年... 同... 少... 華... 未... 托... 日... 日... 大... 日... 日...

月... 形... 萬... 年... 同... 少... 華... 未... 托... 日... 日... 大... 日... 日...

月... 形... 萬... 年... 同... 少... 華... 未... 托... 日... 日... 大... 日... 日...

月... 形... 萬... 年... 同... 少... 華... 未... 托... 日... 日... 大... 日... 日...

此種書後以此字接經年
若一色一色一色一色世亦
此種書

多城年終香風香光空
中書信美金波以倫成
快結之軍旅軍書何容
速人

祝言

君上祝言... 年終...

同林口

此種書... 年終...

聖德結交... 年終...

此種書... 年終...

此種書... 年終... 山崎...

因言隆冬中... 上持源相謀... 國... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

不... 大... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

此... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

請... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

余... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

海... 隆冬中... 候... 題... 國... 隆冬中... 候... 題... 國...

Handwritten text in vertical columns, likely a manuscript or document, written in a cursive style. The text is densely packed and appears to be a continuous passage. The right side of the page is heavily shaded and appears to be the reverse side of the document or a separate page.

